

平成22年度 国保野上厚生総合病院改革プラン点検・評価について

1. 総論

昨年度末より病院事業収益は1.3%の増となったが病院事業費用についても3.0%の増となった。前年度と比較して69.1ポイントの減となった。

2. 改革プラン進捗状況

国保野上厚生総合病院改革プラン平成22年度実績調書

市町村等名 海南市・紀美野町

病院事業会計名 国民健康保険野上厚生病院組合事業会計

(単位:百万円、%)

項目	平成20年度策定 改革プラン値(X)	平成22年度実績(Y)	平成22年度実績が計画未達成の場合はその理由	
医業収益	2449	2538		
経常収益A	2948	3010		
医業費用	2812	2837	医師及び医療スタッフ増員の為、旧精神科病棟解体による資産減耗費増の為	
うち職員給与費	1432	1500	医師及び医療スタッフ増員の為	
うち材料費	680	666		
うち減価償却費	158	152		
経常費用B	2983	3138	医師及び医療スタッフ増員の為、旧精神科病棟解体による資産減耗費増の為	
経常損益(A-B)	-35	-128	医療スタッフ増員による給与増の見込みが過小であった。収益は計画値よりは良くなっているが、費用に見合う増ではなかった。	
単年度資金収支額		2	-36	収益は計画値より良くなっているが、費用に見合う増ではなかった。
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額		0	0	
地財法による資金不足比率		0	0	
経常収支比率	98.8	95.9	入院病床利用率が伸びなかった医療スタッフ増員による費用増	
職員給与費比率	58.5	52.9		
病床利用率	69	71.3		
一般会計からの繰入金	収益的収支	() 325	() 371	
	資本的収支	() 103	() 119	
	合計	() 428	() 490	

評価結果 : ①費用については、計画からの乖離があるため今後も一層の経営改善が必要。

②再編ネットワーク化については管内診療所等と診療情報の共有化を推進していきたい。

③経営形態のあり方についてはアクションプランに沿って公営企業法の全部適用のメリット・デメリットを検証し最終年度に向け一層の論議を進めなければならない。